

VI 研究内容の具体

① 授業改善

1 発達段階に応じためざす児童像

[思考力・判断力・表現力] C 読むこと

		1.2年	3.4年	5.6年
構造と内容の把握	説明的な文章	・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。	・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。
	文学的な文章	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。
精査・解釈	説明的な文章	・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	・目的を意識して、中心となる語や文を見つけ要約することができる。	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。
	文学的な文章	・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像することができる。	・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
考えの形成		・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
共有		・文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。	・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く。	・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。

	1・2年	3・4年	5・6年
語彙	・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにする。	・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。
文や文章	・文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。	・文の中での語句の関わり方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。
音読・朗読	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。	・文章を音読したり朗読したりすることができる。
読書	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。	・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。	・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。

★論理的思考「根拠・理由・主張」の系統性 (学習指導要領に示されている内容の系統表と絡めて)

	1・2年	3・4年	5・6年
考えの形成	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
「根拠・理由・主張」の3点セット	<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ★めざす児童の姿 <ul style="list-style-type: none"> 主張と理由を話したり書いたりすることができる。 理由を話す際に、自分の体験と結び付けて話そうとしている。 教師の問い返しや友達との対話を通して、根拠や理由を補おうとしている。 	<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ★めざす児童の姿 <ul style="list-style-type: none"> 感想や考えをもつ際に、「根拠・理由・主張」を意識して話したり書いたりしようとしている。 3点セットがそろったときの考えが分かりやすいことを実感することができる。 	<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ★めざす児童の姿 <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめる際に、複数の根拠から理由を考えたり、一つの根拠から複数の理由を考えたりすることができる。 友達の考えを聞いて、根拠をもって、自分の考えを論じたり、再構築したりしようとしている。
	<p style="text-align: center;">↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ★教師の問い返し <ul style="list-style-type: none"> 「どうしてそう思うの？」 「自分だったらどう？」 「どの言葉からそう考えたの？」 ★低学年へのおろし方 <ul style="list-style-type: none"> 「根拠・理由・主張」を低学年に分かりやすい言葉で教え、意識させる。 【主張】 自分の考え 【理由】 どうしてそう思うか。 【根拠】 どこからわかるか。 	<p style="text-align: center;">↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ★教師の問い返し <ul style="list-style-type: none"> 「どうしてそう思うの？」 「自分だったらどう？」 「どの言葉からそう考えたの？」 ★3点セットのよさの自覚 <ul style="list-style-type: none"> 根拠や理由がしっかり述べられている考えを取り上げ、全体でよさを共有する。 	<p style="text-align: center;">↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ★教師の問い返し <ul style="list-style-type: none"> 「どの言葉からそう考えたの？」 「本文のいろいろな言葉から～～が分かるね。」 「～～という考えに対してどう思う？」 ★考えの再構築 <ul style="list-style-type: none"> 友達の考えを聞いて、自分の考えが変わったり、付け足されたりしたことがないか、問いかける。